

事業概要

心豊かで潤いのある生活や個性豊かで活力ある滋賀の実現に向けて、本県の文化振興にさまざまな人たちがかわりながら取り組んだ。

指定管理施設である滋賀会館、しが県民芸術創造館、文化産業交流会館および希望が丘文化公園について、それぞれの施設や地域の特性を活かし、多くの県民に足を運んでいただけるよう魅力ある施設づくりを目指し、安全・安心を第一に利用者サービスの向上に努めるとともに、より一層の効果的、効率的な運営を図った。なお、滋賀会館は、56年にわたる文化施設としての役割を3月末で終えた。

また、8月に示された県の行政経営改革委員会からの「外郭団体および公の施設の見直しに関する提言」に対し、事業団としての意見書を提出したが、県民からしが県民芸術創造館および滋賀会館の存続を求める署名活動が行われた。

なお、公益財団法人の申請について、諸準備を進めてきたが、「外郭団体の見直し計画」および収支相償の不適合により平成21年度は見送り平成22年度以降の申請に変更した。

事業の実績

事務局本部

各施設の管理運営・事業の進行管理、調整を行うとともに、滋賀県からの受託事業等を行った。また、外部から専門家を文化芸術コーディネーターとして迎え、しが県民芸術創造館および文化産業交流会館の次期指定管理に向けて方策を検討した。

滋賀県芸術文化祭は、オープニング事業、公募展(美術展・写真展・文学祭)、フェスティバル事業の開催および参加事業の取りまとめを行うなど円滑な運営に努めた。

文化芸術による次世代支援の取り組みとして、「しが文化芸術学習支援センター」と協働で学校現場への体験プログラムの普及に努めるとともに、近江歴史回廊推進協議会では、事務局として協議会や近江歴史回廊大学の運営などに取り組んだ。

また、文化庁「地域文化芸術振興プラン推進事業」参加の「文化で滋賀を元気に！キックオフ・プラン」の一環として、「しがアートドーナツ体験・支援・活性化事業」の実施と実行委員会事務局を務めた。

引き続き、滋賀の総合文化誌「湖国と文化」や湖国文化情報紙「れいかる」の発行等により、身近な湖国文化資源の紹介や県内文化芸術情報の提供に努めた。さらには、県内アーティストや文化団体を取材・調査しデータベースの作成を進めた。

参加者総数 285,901 人 (346,457) 人(前年度) 対前年度比 82.5%

1 受託事業

(1)文化振興事業

() 前年度実績

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	予算額 円	決算額 円	備考
第39回滋賀県芸術文化祭実行委員会	平成21年6月10日(水) 平成21年7月10日(金) 平成22年2月26日(金)		計 750	(収入) 10,378,000	(収入) 9,640,877	
芸術文化祭開催期間: 平成21年8月29日(土)~ 12月13日(日)				[内入場料等] 100,000	[内入場料等] 100,000	
オープニング事業	平成21年8月30日(日) 会場:大津港観光船旅客ターミナル、琵琶湖汽船「ミンガン」船上		750 (1,040)	(支出) 10,378,000	(支出) 9,540,877	人件費含む
第63回滋賀県美術展覧会	平成21年12月1日(火)~12月13日(日) 会場:県立近代美術館 前期:工芸・書 12月1日(火)~12月6日(日) 後期:平面・立体 12月8日(火)~12月13日(日) 表彰式:12月6日(日) 出品点数:585点		計 2,614 (2,768)	(収入) 5,884,000	(収入) 6,609,427	
				[内入場料等] 100,000	[内入場料等] 90,000	
				[内県受託金] 5,784,000	[内県受託金] 6,519,427	
				(支出) 5,884,000	(支出) 6,609,427	
第48回滋賀県写真展覧会	平成21年10月20日(火)~ 10月25日(日) 会場:県立近代美術館ギャラリー 表彰式:10月25日(日) 出品点数:593点		計 1,714 (1,135)	(収入) 2,106,000	(収入) 2,105,819	
				[内入場料等] 0	[内入場料等] 0	
				[内県受託金] 2,106,000	[内県受託金] 2,105,819	
				(支出) 2,106,000	(支出) 2,105,819	
県展秀作展	平成21年12月17日(木)~12月23日(水) 会場:長浜文化芸術会館 出品点数:96点		計 461 (334)			

第59回滋賀県文学祭	平成21年11月23日(月・祝) 会場: 県立男女共同参画センター 表彰式・文芸講演会「日本語の中の滋賀の言葉」 講師: 増井金典氏(滋賀短期大学名誉教授) 出品点数: 1,196点			計 500 (500)	(収入) 4,212,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 4,212,000 (支出) 4,212,000	(収入) 4,211,930 [内入場料等] 0 [内県受託金] 4,211,930 (支出) 4,211,930	
フェスティバル事業 長浜音楽祭2009 ダンスフェスティバルin東近江 参加事業	平成21年11月22日(日)・23日(月・祝) 会場: 長浜文化芸術会館(899人) 平成21年11月21日(土) 会場: 東近江市立八日市文化芸術会館(489人) 平成21年8月29日(土)～12月13日(日) 会場: 県内各地 参加事業数: 179事業			計 262,681 (328,866)			
〔事業成果〕 県内24の文化団体等の代表者による滋賀県芸術文化祭実行委員会を開催するとともに、3つの公募展では滋賀県美術協会、滋賀県造形集団、滋賀県写真連盟および滋賀文学会との連携・協働により開催した。オープニングでは、主な出演団体を参加事業の中から選定し、出演者・観覧者とも、県民が主体となって、開会を盛り上げた。参加事業については、参加数がわずかに減ったものの、県民自らが創作活動を行う分野では昨年以上の参加が見られ、文化芸術への関心の高まりがうかがえる。また、フェスティバル事業として、継続2事業を長浜および東近江の地元自治体との共催で実施し、芸術文化祭を盛り上げることができた。本年度は新型インフルエンザの感染が懸念されたことにより参加事業数、参加者数とも減少となった。							
県内文化情報提供事業 湖国文化情報 「れいかる」発行 総合文化誌 「湖国と文化」提供事業	年4回(7・10・1・4月の各月1日付発行) 発行部数: 70,000部 県内文化施設等で開催される文化芸術情報を網羅したA4版、全8頁、両面カラー刷情報紙「れいかる」の発行 年4回(7・10・1・4月の各月1日発行) 発行号: 第128号～第131号 配布部数: 1回424冊 配布先: 県内外図書館、県内外大学・短期大学、報道機関、県内外美術館・博物館、滋賀県人会、県内市町など				(収入) 7,159,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 7,159,000 (支出) 7,159,000	(収入) 6,975,237 [内入場料等] 0 [内県受託金] 6,975,237 (支出) 6,975,237	人件費含む
〔事業成果〕 「れいかる」については、記載内容の充実に努めた結果、文化施設とのネットワーク化と文化情報の拡充がすすみ概ね好評を得ている。ただし、配布依頼先施設において、配布数の見直しが見られ、発行部数が前年度に比べ1回5000部減らした。情報の充実に反し、「文字が小さい」との要望が引き続き多く、読みやすいレイアウトを心掛けた。恒常的に設置する施設だけでなく、各地で開催される事業の実施の際に配布いただくなど効率的に広く県民に行き渡るよう努めた。今後も情報の充実と、見やすい紙面作りにも、県民が求める内容としたい。							
しがアートドーナツ体験・支援・活性化事業 実行委員会	平成21年9月2日(水) 平成21年12月10日(木) 平成22年3月10日(水) 会場: 滋賀会館				(収入) 1,479,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,479,000 (支出) 1,479,000	(収入) 1,541,978 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,541,978 (支出) 1,541,978	
しがアートドーナツ体験・支援・活性化事業 映画「キクとイサム」上映&「高橋エミ」トークと歌	平成22年1月16日(土) 会場: しが県民芸術創造館 平成22年1月19日(火) 上映会のみ 会場: 滋賀会館			計 835 620 215	(収入) 1,523,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,523,000 (支出) 1,523,000	(収入) 1,553,714 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,553,714 (支出) 1,553,714	
しがアートドーナツ体験・支援・活性化事業 セカンドストリームコンサート	セカンドストリームガラコンサート 平成22年2月19日(金) 会場: びわ湖ホール小ホール セカンドストリームVol.1 音波の煌き～欧州への誘い～ 平成22年2月21日(日) 会場: しがぎんホール セカンドストリームVol.2 四つの花が出逢うとき 平成22年2月27日(土) 会場: 文芸セミナーヨ セカンドストリームVol.3 春への扉～: 曲から知らされる: 曲まで～ 平成22年2月28日(日) 会場: しがぎんホール			計 863 286 198 170 209	(収入) 4,594,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 4,594,000 (支出) 4,594,000	(収入) 3,925,458 [内入場料等] 0 [内県受託金] 3,925,458 (支出) 3,925,458	

しがアート・ナーツ体験・支援・活性化事業	「子どものためのどこでもコンサートin信楽」 信楽焼と音楽のコラボレーション 平成22年1月17日(日) 会場:陶芸の森 信楽ホール		計 1,714	(収入) 3,225,000 [内入場料等] 0	(収入) 3,223,630 [内入場料等] 0	
子どものためのどこでもコンサート	「子どものためのどこでもコンサートin土山」 ～やっぼんぼんふれあいと癒しのコンサート～ 平成22年1月31日(日) 会場:ダイヤモンド滋賀ホテル2階ホール		169	[内県受託金] 3,225,000	[内県受託金] 3,223,630	
	「子どものためのどこでもコンサートin草津」 びわ湖声楽アンサンブル オペラ 泣いた赤鬼 平成22年2月19日(金) 会場:しが県民芸術創造館ホール		299	(支出) 3,225,000	(支出) 3,223,630	
	「子どものためのどこでもコンサートin高島」 被爆ピアノによる絵本「ヒロシマのピアノ」コンサート 平成22年2月28日(日) 会場:ガリバーホール		446			
	「子どものためのどこでもコンサートin大津」 ドラムワークショップ 平成22年1月19日(金)～2月11日(木) 計4回 会場:滋賀会館・集會室		110			
〔事業成果〕 映画「キクとイサム」は、芸術選奨・文部大臣賞などのほか数々の賞を受賞している日本の名作である。今回上映できる機会に恵まれ50年前の作品であるにもかかわらず、多くの県民に鑑賞いただくことができた。 また、「セカンドストリームコンサート」においては、洋楽(クラシック)と邦楽のコラボレーションによる新たな試みを図ったが、出演者の音楽に対する姿勢や考え方の相違などから舞台構成面で課題を残した。一方、「子どものためのどこでもコンサート」では、観客や参画団体から継続的な開催を希望する声をいただき大変好評であったが、県下広域にわたり事業を展開したため事業の実施体制や事業内容で共通認識ができていなかったことが見受けられ反省するところである。						
滋賀県緊急雇用創出特別推進事業 県内アーティスト・文化団体データベース作成業務	平成21年10月1日から平成22年3月31日まで 県内で活躍するアーティストや文化団体等に対して調査・取材を行い、それらの情報を網羅したデータベースを作成する。また、その内容をホームページ等で公開することにより、県内の文化活動の活性化と相互の交流を促進する。			(収入) 1,862,000 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,862,000 (支出) 1,862,000	(収入) 1,668,933 [内入場料等] 0 [内県受託金] 1,668,933 (支出) 1,668,933	
〔事業成果〕 平成21年10月から、平成15年度同事業で作成のデータベースの団体情報の更新と新規の団体および個人アーティストの開拓を「あーとねっと・しが」の登録情報を中心に調査・取材し、ある程度のデータベース情報が収集でき入力を完了した。しかし、個人アーティストの情報入手が困難であること、市町合併により体制が整理されていない文化連盟、協会などの情報が更新できなかった。今後は、最新情報の更新および新規情報の収集を行い、併せて「あーとねっと・しが」への登録促進に繋げていきたい。						
合計事業数 4 事業 (2) 事業	入場者総数		計 272,132 (334,643)	(収入総額) 42,422,000 (34,600,000) [内入場料等] 200,000 [内県受託金] 42,222,000 (支出総額) 42,422,000 (34,600,000)	(収入総額) 41,457,003 (33,974,419) [内入場料等] 190,000 [内県受託金] 41,267,003 (支出総額) 41,457,003 (33,974,419)	

2 自主事業

(1) 自主事業

() 前年度実績

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	予算額 円	決算額 円	備考
総合文化誌「湖国と文化」発行	年4回(7・10・1・4月の各月1日発行) 発行号:第128号～第131号 発行部数:各号3,000部(128号のみ1,000部増刷) 既刊号:第83号～第127号 湖国の総合文化誌「湖国と文化」の編集、発行、販売を行った。特集として、「シニアが見つけた!湖国の文学2」、「燦然(キラリ)琵琶湖ブランド」、「前垂れに見る近江商人魂」、「東海道本線・草津線全線開通120年」を掲載した。	販売価格 1冊630	販売数 計 9,121 (8,713)	(収入) 9,296,000 [内入場料等] 9,196,000 [内民間補助金] 100,000 (支出) 10,572,000	(収入) 8,340,230 [内入場料等] 8,240,230 [内民間補助金] 100,000 (支出) 9,274,327	助成 (株)平和堂
〔事業成果〕 滋賀の豊富な自然、歴史、文化等幅広いジャンルから、環境、史跡、人物、行事、地域や暮らしに密着した身近な事象などを多彩に取り上げる「湖国と文化」は、滋賀を知る入門書としてだけでなく、掘り下げた内容によって滋賀についての認識を深める専門書としても役立っている。 また、県唯一の文化情報誌として、本誌に寄せられる期待はより大きくなってきており、本県に密着した特集や話題性のある特集を組み販売促進に努めている。特に、平成21年度は128号で本県出身の宝塚歌劇団スターを取り上げ話題を集め、本の販売促進に繋がった。 今後も本誌を通して滋賀の魅力を広く発信することにより、県民はもとより県外の方にも滋賀への興味・関心を深めていただけるように努力したい。						
合計事業数 1 事業 (1) 事業				(収入総額) 9,296,000 (9,296,000) [内入場料等] 9,196,000 [内民間補助金] 100,000 (支出総額) 10,572,000 (10,488,000)	(収入総額) 8,340,230 (8,180,090) [内入場料等] 8,240,230 [内民間補助金] 100,000 (支出総額) 9,274,327 (10,361,905)	

(2) 付帯事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	予算額 円	決算額 円	備考
情報公開請求時のコピー 使用料	通年		計 0	(収入) 0 [内入場料等] 0 [内県受託金] 0 [内民間補助金] 0 (支出総額) 0	(収入) 0 [内入場料等] 0 [内県受託金] 0 [内民間補助金] 0 (支出総額) 0	
〔事業成果〕 情報公開請求なし(0件)						
合計事業数	1 事業 (1) 事業			(収入総額) 0 (0) (支出総額) 0 (0)	(収入総額) 0 (0) (支出総額) 0 (0)	

(3) 近江歴史回廊推進協議会

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	予算額 円	決算額 円	備考
近江歴史回廊大学	第11回(後期) 21年5月～9月 開講クラス:近江戦国の道、近江の歴史を築いた人々、「近江歴史回廊」実践 講座数:14回 43時限 第12回(前期) 21年10月～22年3月 開講クラス:近江戦国の道、近江の歴史を築いた人々、「近江歴史回廊」実践 講座数:16回 47時限	7,500 7,500	計 270 (1,322) 96 108	(収入) 3,587,000 [内入場料等] 3,587,000 [内民間補助金] 0 (支出) 3,587,000	(収入) 3,587,000 [内入場料等] 3,587,000 [内民間補助金] 0 (支出) 3,587,000	
情報発信事業	「近江中山道中絵巻」 パンフレット改訂作成 4,000部 「近江中山道」ホームページ修正					
「近江戦国の道」部会	「近江戦国の道」PRイベント 早春の「近江戦国の道」バスツアー 実施日:平成22年3月13日(土) 場 所:大津城跡、堅田陣屋、八幡堀、安土城、彦根城、他 「近江戦国の道」パンフレット修正および増刷 1,500部 「近江戦国の道」ホームページ公式サイト修正		39			
「近江東海道」部会	職員現地研修会(大津エリア) 「近江東海道中絵巻」ホームページ改訂 「近江東海道浮世絵浪漫」インターネット版作成 近江東海道フォトコンテスト 平成22年2月4日(木) 出品数71点		9			
「湖西湖辺の道」部会	「湖西湖辺の道」PRイベント「湖西湖辺の道」 クルージング&バスツアー 実施日:平成21年11月14日(土)・15日(日)1泊2日 場 所:大津港、竹生島、奥琵琶湖マキノリゾート(宿泊)、三井寺、近江神宮、大津京跡他		18			
〔事業成果〕 近江歴史回廊大学では、滋賀の歴史文化資源を活かし、まちづくりのリーダーとなる人材を育成をめざすため、講座とともに現地研修を取り入れ、歴史的素材を提供した。中でも実践クラスでは、受講生が自ら調査研究し、その結果を調査対象となった教育委員会の方に直接報告するなど、実践的なカリキュラムとした。また、当大学を支援いただいている「近江歴史回廊倶楽部」や地域のボランティアガイド協会会員等によるファシリテーターとしての活動や解説は、地域の歴史と人々を繋ぐリーダーとして、大学受講生の模範となる指針を示していただいた。近年の歴史ブームにより、若い世代の参加も増え、地域のリーダーを育てる契機となった。						
合計事業数	1 事業 (1) 事業	入場者総数	計 270 (1,322)	(収入総額) 3,587,000 (5,021,000) [内入場料等] 3,587,000 [内民間補助金] 0 (支出総額) 3,587,000 (5,021,000)	(収入総額) 3,587,000 (5,094,000) [内入場料等] 3,587,000 [内民間補助金] 0 (支出総額) 3,587,000 (5,021,000)	事務局人件費

(4)しが文化芸術学習支援センター

しが次世代文化芸術推進委員会	委員会会議を3回開催。 第1回平成21年6月5日(金) 第2回平成21年12月18日(金) 第3回平成22年3月12日(金)		計 13,499	(収入) 1,400,000	(収入) 1,400,000	
しが文化芸術学習支援センター	連携授業 通年 文化ボランティアフォーラム2009 in 滋賀 平成21年10月18日(日)～19日(月) 会場:びわ湖ホール、志津南小学校 甲賀子ども文化芸術祭/会場:忍の里プラザ 平成21年8月2日(日) コーディネーター・ボランティア研修 14回開催 登録ボランティア数67人、教師塾登録人数36人	151件(43校)	子ども 10,261 大人 3,238	[内入場料等] 1,400,000 [内民間補助金] 0 (支出) 1,400,000	[内入場料等] 1,400,000 [内民間補助金] 0 (支出) 1,400,000	
<p>(事業成果)</p> <p>平成20年度、滋賀県基本構想の一環で「次世代文化芸術推進事業」が計画され、これまでの連携活動の発展的な仕組みとして、「民を主導としながら官と協働する、新しい文化振興の先駆的なモデル、しが文化芸術学習支援センター」が開設。同センターの事業は、「連携授業」、「連携研究会」、「文化ボランティア育成」、「子ども文化芸術祭」、「連携・協働」の5つの柱を掲げ、美術館、博物館、文化ホール、民間団体、企業、行政、地域との連携・協働により、未来を担う子どもたちに、質の高い文化芸術を通じた支援の輪を広げていく活動を展開した。また、今年度3回開催したしが次世代文化芸術推進委員会では、各委員から貴重な意見をいただき、学校関係者・県内企業・文化施設関係者等を繋ぐ、新たな文化芸術学習支援の可能性が開ける場となった。</p>						
合計事業数	1 事業 (1) 事業	入場者総数	計 13,499 (10,492)	(収入総額) 1,400,000 [内入場料等] 1,400,000 [内民間補助金] 0 (支出総額) 1,400,000	(収入総額) 1,400,000 [内入場料等] 1,400,000 [内民間補助金] 0 (支出総額) 1,400,000	事務局人件費

3 法人運営事業

- (1)ホームページによる情報提供
閲覧数 248,029 件 (236,014件)
- (2)情報公開
文書公開の申出件数 0件 (0件)
- (3)職員研修
ア 職場研修「飲酒運転の防止」「不適正な会計処理の防止」「人権」 全職員
イ 事業団職員研修
(ア)職員研修(前期・後期)
前期(7月13日) 64人
・「アートマネジメントの視点に立った公立文化施設の経営」
・「新公益法人の認定に向けて」
・ワークショップ「事業団のビジョンとミッション」
・「よりよい職場をつくる具体的な解決策を考える」
後期(2月22日) 52人
・「事業団のビジョンとミッション」
・「職場環境改善の進捗状況」
・全体ワークショップ「これまでの文化事業を考える」
・分科会ワークショップ「次期指定管理に向けて、どのような変革をなすべきか」
・「新しい企画や事業、新しい施設サービスの提案」
(イ)中堅職員研修(1月12日) 29人
・「滋賀県の文化行政」
・「事業団の現状」
・「指定管理者制度の現状と対策」
・ワークショップ「私は事業団をこう変革したい」
・「滋賀県の文化芸術振興のあり方を考える」
(ウ)文化事業のスクラップ&ビルド(8月24日) 36人
・「滋賀県行政経営改革委員会の提言を受けて」
・ワークショップ「文化事業のスクラップ&ビルド」
(エ)通信教育研修 4人
ウ 政策研修センター研修
(ア)階層別研修(主幹級、副主幹級、主査級) 5人
エ 公立文化施設研修
(ア)県公立文化施設協議会「びわ湖舞台芸術スタッフセミナー」 7人
(イ)(社)全国公立文化施設協会
・研究大会業務管理部会(公益認定) 1人
・アートマネジメント研修 1人
・アートマネジメントセミナー 2人
・技術職員研修 1人
(ウ)近畿公立文化施設協議会
・アートマネジメント研修 2人
・技術職員研修 1人
オ 全国公益法人協会研修
「公益認定」「経理事務」他 19人
カ その他研修等
(ア)(財)公益法人協会「公益認定」「経理事務」 3人
(イ)文化庁「著作権セミナー」 2人
(ウ)びわ湖環境ビジネスメッセ「環境セミナー」 5人
(エ)日本ボランティアコーディネーター協会「文化ボランティアコーディネーター養成講座」 2人
(オ)(社)日本キャンプ協会・滋賀県キャンプ協会「キャンプインストラクター養成講習会」 1人
(カ)滋賀県森林センター「森づくり県民講座」 1人
(キ)滋賀県環境学習支援センター「企画者のための環境学習体験講座」 1人
(ク)文部科学省・環境省「環境教育リーダー研修基礎講座」 3人
(ケ)(社)日本キャンプ協会「自然体験活動指導者養成講習会」 1人
(コ)国立曽爾青少年自然の家「自然体験活動指導者養成講習会」 1人
(サ)(財)大阪府青少年活動財団「キャンプ指導者講習会」 2人
(シ)(社)日本キャンプ協会「キャンプディレクター1級検定会」 1人

ほか